

<p>質問者</p>	<p>通告 8 番 1 3 番 清水 豊司 議員</p>	<p>通告時間 6 0 分 答弁者 町長・教育長</p>
<p>質問事項</p>	<p>「人口減少」、「少子・高齢化」の中での「第 6 次総合計画」の課題について問う</p>	
<p>要 旨</p>	<p>昨年 1 年で日本の人口は自然減で鳥取県の人口に近い 5 1 万人減った。本町においては 2 0 1 8 年と 2 0 1 9 年の 1 年間の比較では世帯数 8 9 世帯、人口 5 3 人の増となった。また今後数年間は区画整理等で世帯数、人口増は続くかもしれないが早晚、国と同じ様な「人口減少」時代が来ることは明らかだ。</p> <p>もう一つ問題は「少子・高齢化」と言う人口構造の問題である。これから数十年かけて訪れるこの「人口減少」と「少子・高齢化」は町の将来に大きな影響をもたらす。</p> <p>一方で過去に建設された多くの公共施設等が老朽化し、大量の更新時期を迎えることや高齢化による民生費の増が予想される一方で、地方財政は依然として厳しい状況下であり、中長期的視点を持ってこれらの課題に取り組まなければならない。</p> <p>このような中、町は来年度に「第 6 次総合計画」を策定されるが策定にあたり計画の基本となる人口問題と今後の町の課題について以下の質問をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 当町の今後 3 0 年間における人口動態は。 2 当町の公共施設とインフラの老朽化への対応は。 3 将来の民生費の予測は。 4 将来の財源予測と今後の財務運営のポイントは。 5 今後の広域行政の考えは。 	